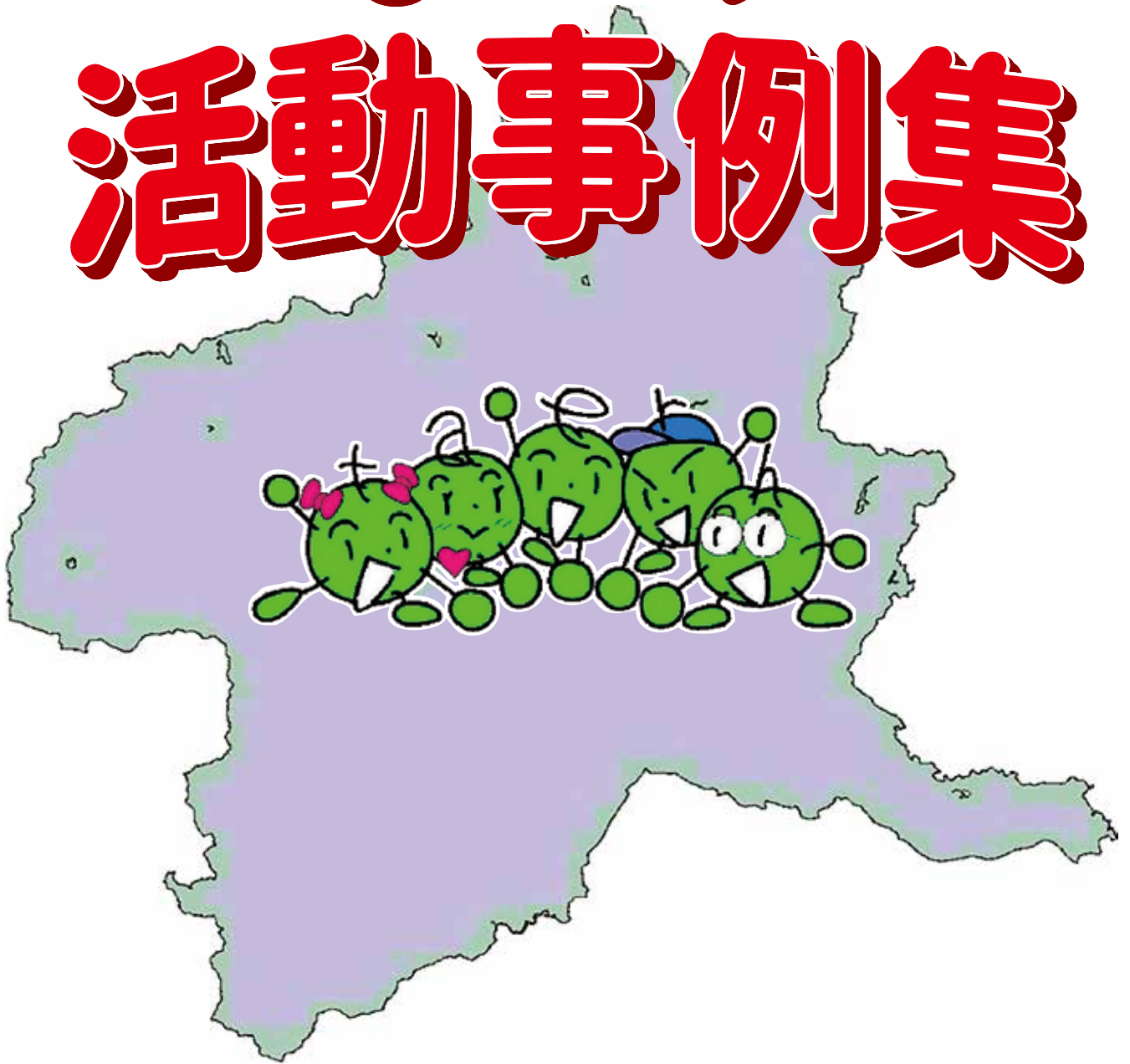


2025

こどもエコクラブ 活動事例集



群馬県

令和7年度のこどもエコクラブ

こどもエコクラブは、幼児から高校生までなら誰でも参加できる環境活動のクラブです。平成7年度の誕生以来、今年度で30年目を迎えました。全国で2,425のクラブがあり、95,740人のこどもたちが自主的な活動に取り組んでいます。(令和7年12月31日現在)

群馬県では、令和7年度は、175クラブ、1,310人のこどもたちが、こどもエコクラブのメンバーとなり、434名のサポーターさんたちに支えられながら、それぞれの地域で特色ある活動を行いました。

市町村事務局の担当者やサポーターのみなさんで「こどもエコクラブ事業企画・運営委員会」をつくり、夏の「学習会(おもしろ体験してみ隊)」を企画しました。1月の交流会は4つのクラブが集まり活動発表するなど楽しく開催できて大変よかったです。

こどもエコクラブに参加してくれたみなさんと、支援して下さったサポーターのみなさん、そして、いつも陰で支えてくださる市町村の担当者のみなさんにも深く感謝いたします。

も く じ

はじめに もくじ	1
令和7年度 県内のこどもエコクラブ紹介	2
群馬県こどもエコクラブ学習会	3
群馬県こどもエコクラブ交流会	5
活動報告	7
①イオンチアーズクラブ高崎	
②エコクラブくわまる	
③イオンチアーズクラブ太田	
④前橋市児童文化センター環境冒険隊	
⑤元総社エコクラブ	
おすすめ情報	16
壁新聞の紹介	17
こどもエコクラブへ登録してみませんか!	22

こどもエコクラブ(群馬県)のホームページ <https://ecogunma.pref.gunma.jp/activities/1579.html>
こどもエコクラブ(全国)のホームページ <https://www.j-ecoclub.jp/>

こどもエコクラブ憲章

- 1 私たちは、生命を生み、育てくれる『水と緑の惑星・地球』を愛し、未来に引き継ぎます。
- 2 私たちは、自分たちの暮らしや身のまわりの環境に関心を持ち、地球とともに生きていくための努力を続けます。
- 3 私たちは、世界中のなかまと、手をたずさえて、地球を守るために活動を続けます。
私たちは、夢を忘れずに、夢を追い続けます。

これからも、群馬県の環境を守るためにがんばっていきます!

令和7年度 県内のこどもエコクラブ紹介

市町村	番号	クラブ名	メンバー数
前橋市	1	元総社エコクラブ	3
	2	前橋市児童文化センター 環境冒険	15
	3	元総社小学校エコクラブ	212
	4	前橋市立元総社南小学校	194
	5	前橋市立元総社北小学校	311
	6	はじまるキッズ	4
	7	まえばしエコっ子クラブ	1
	8	まえばしちっちゃなエコ隊	4
	9	ネイチャークラブYY	1
	10	あかぎネイチャーサイエンス	5
	11	はるゆうクラブ	2
	12	ふみふうクラブ	2
	13	ゆうじょうクラブ	2
	14	BUNKYOエコクラブ	3
	15	はるなネイチャーサイエンス	5
	16	もりっこクラブ	5
	17	ぎょうざクラブ	3
	18	そうちゃん'Sクラブ	2
	19	かおるクラブ	2
	20	おぜんちゅクラブ	2
	21	こぐれけ	2
	22	前橋育英高校科学部	7
	23	lizaka Club	3
	24	ガービー	1
	25	かのん クラブ	1
	26	NICOMOCOクラブ	1
	27	つくしエコクラブ	4
高崎市	28	イオンチアーズクラブ高崎	36
	29	ドロップ イン	2
	30	つぶちゃんず	2
	31	地球レンジャー☆クラブ	1
	32	スキホクラブ	2
	33	ぼんちゃんクラブ	2
	34	とけいやさんクラブ	2
	35	金沢ファミリークラブ	1
	36	Mao' sクラブ	1
	37	チーム悠陽	2
	38	E.Tエコクラブ	1
	39	3年ひるさわぐみ	2
	40	リスクラブ	2
	41	みおクラブ	1
	42	群馬クラブ	3
	43	さとうファミリー	1
	44	けんこうクラブ	3
	45	アキスーパーエコクラブ	1
	46	Nakajimaクラブ	1
	47	マキンチクラブ	2
	48	ストロベリークラブ	1
	49	まいまいクラブ	2
	50	自然クラブ	2
	51	いちごクラブ	2
	52	かなゆずクラブ	2
	53	まきこクラブ	2
	54	さくらいクラブ	3
	55	たいみー	2
	56	こどもエコクラブ	2
	57	ゆうまクラブ	1
	58	Nagaクラブ	2
	59	ゆうたんクラブ	1
	60	みずきクラブ	2

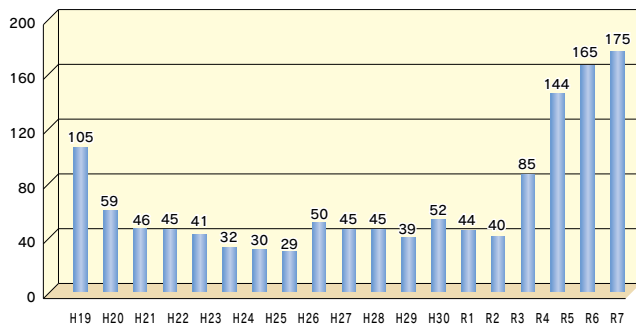
市町村	番号	クラブ名	メンバー数
高崎市	61	ゆずみごクラブ	2
	62	並履エコクラブ	1
	63	スイカクラブ	2
	64	なかよしクラブ2	1
	65	ゆうしんクラブ	1
	66	たくエコクラブ	2
	67	城山自然探検隊	52
	68	カッパピアエコクラブ	66
	69	おうそうクラブ	2
	70	しゅう	2
	71	ECOクラブまるっと	1
	72	ショコラ クラブ	1
	73	Wonder Ponder Club	2
	74	こはるクラブ	1
桐生市	75	チャウスこどもエコクラブ	45
	76	SAKASO	2
	77	真田丸クラブ	3
	78	ゆりおクラブ	2
	79	ecoレンジャー	1
	80	こいずみクラブ	3
	81	うさぎごけクラブ	2
	82	えまわりクラブ	2
	83	ミックスナッツ	3
	84	みらい クラブ	1
	85	プブルクラブ	2
	86	たいよう	3
	87	クラブ おゆこ	2
	伊勢崎市	88	アベンジャーズ
89		はやぶさクラブ	2
90		メイカイ クラブ	2
91		にこにこクラブ	2
92		大福クラブ	2
93		はるみっちいぼんクラブ	2
94		カービークラブ	2
95		りほこクラブ	2
96		ポップコーンクラブ	2
97		にこにこクラブ	2
98		かほクラブ	3
99		のいちごクラブ	3
100		でんしゃクラブ	1
101		ほのあや環境クラブ	2
太田市	102	りとかなかさ	3
	103	みはみ クラブ	3
	104	エコクラブくわまる	2
	105	イオンチアーズクラブ太田	30
	106	りおクラブ	1
	107	eco family	2
	108	K.A.Uクラブ	3
	109	りとクラブ	1
	110	つかさつばきクラブ	2
	111	じっけんクラブ	2
	112	ワクワクチャレンジクラブ	2
	113	なかよしクラブ	3
	114	関川家クラブ	2
	115	ゆうやクラブ	1
116	いきものせいかつクラブ	1	
117	ゆうひクラブ	2	
118	大谷家クラブ	1	
119	flowerクラブ	3	
120	あきそうけんちゃん成長記録クラブ	2	

市町村	番号	クラブ名	メンバー数
太田市	121	かほふーかクラブ	2
	122	自然を守るうクラブ	2
	123	たけるみさきクラブ	2
	124	エコMUROクラブ	3
	125	みらいクラブ	2
	126	ドラえもんクラブ	1
	127	わっちクラブ	2
	128	グリーンクラブ	3
	129	元気もりもりクラブ	2
	130	セリちゃんクラブ	1
	131	エコ電車クラブ	1
	132	プリキュアクラブ	3
	133	たぬちゃんクラブ	1
	134	ほまかなクラブ	2
	135	ももクラブ	1
	136	てんとうむしクラブ	1
	137	電力クラブ	1
	138	おおた ちゅうおう クラブ	2
沼田市	139	しらさわエコキッズクラブ	16
	140	kodoeco	1
	141	ぶどう屋のエコクラブ	3
	142	こむぎクラブ	1
館林市	143	大島自然たんけんたい	11
	144	S.Aクラブ	2
渋川市	145	アビークラブ	1
	146	はるキッズ	1
藤岡市	147	ぐんまふじおかこどもエコクラブ	2
	148	のぶきっず	1
	149	りあクラブ	2
	150	ほしクラブ	2
安中市	151	TKT	2
	152	ちわわんクラブ	3
	153	しつがいぎクラブ	2
	154	Nagaiクラブ	2
	155	モコちゃんクラブ	3
	156	ピーチクラブ	1
	157	こはたまクラブ	2
みどり市	158	地球防衛隊みどり支部	2
	159	地球防衛隊みどり支所	2
	160	めぐめぐクラブ	1
	161	プーちゃんクラブ	2
	162	チャレンジクラブ	2
	163	エクラブ 七彩	2
	164	shiono	2
吉岡町	165	リーヌくんクラブ	1
高山村	166	A&Kクラブ	2
	167	?クラブ	1
千代田町	168	バキクファロサウルス	2
	169	おにぎりクラブ	1
大泉町	170	地球を守るうクラブ	2
	171	ポムクロクラブ	1
邑楽町	172	ひなたけクラブ	2
	173	39クラブ	2
	174	おかめクラブ	1
	175	ひよっこクラブ	2

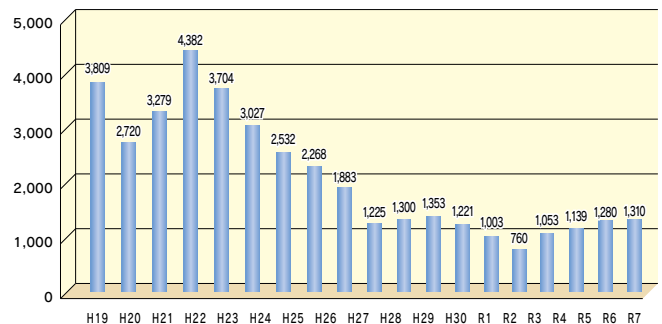
合計：175クラブ メンバー数：1,310名
(令和8年1月1日現在)

群馬県内のこどもエコクラブの変遷

クラブ数



メンバー数



群馬県子どもエコクラブ学習会

令和7年度

「おもしろ体験してみ隊」学習会

令和7年9月6日(土) サンデンフォレスト

9月6日(土)にサンデンフォレストを会場に、群馬県子どもエコクラブ学習会「おもしろ体験してみ隊」を開催しました。今年度は4つのクラブのメンバー48名とサポーター13名、事務局10名を合わせて71名が参加しました。



開会行事

開会行事では、県環境政策課藤城課長のあいさつの後、前橋市児童文化センター環境冒険隊の上野隼人さんと三木光太郎さんが学習会にのぞむ気持ちを発表してくれました。

参加者は午前午後と分かれて、生きものガイドツアー、木の実等を使ってのクラブ体験、自然体験ゲームを行いました。



生きものガイドツアー



サンデンの職員のガイドで、五感を使って体験をしたり、確かめたり、調べたりしながら歩きました。

自然体験ゲーム

自然体験ゲームでは、集めた葉っぱで、葉っぱの特徴をテーマに「葉っぱじゃんけん」をしました。対戦相手を見つけペアをつくり楽しく勝負しました。



クラフト体験



クラフト体験では、「森の中のいきもの」をテーマにイメージを膨らませ、材料の形をいかした素晴らしい作品を仕上げました。最後に各自の作品発表会をしました。互いの良いところを伝え合いました。



子ども達は森の中での自然とのふれあいやクラフト体験をとおして、自然を見つめたり自然の大切さを感じたり、素晴らしい体験ができました。

群馬県こどもエコクラブ交流会

令和8年1月10日(土) 前橋市児童文化センター

前橋市児童文化センターにて「第30回群馬県こどもエコクラブ交流会」を開催しました。
今年度は4クラブのメンバーとサポーター、事務局の54名が参加しました。前半は活動発表会、後半の環境教室では、クイズをとおして環境問題を考えました。

プログラム

- 1 開会行事
- 2 活動発表
 - ① イオンチアーズクラブ高崎
 - ② エコクラブくわまる
 - ③ イオンチアーズクラブ太田
 - ④ 前橋市児童文化センター 環境冒険隊
- 3 壁新聞の展示・見学
 - ・イオンチアーズクラブ高崎
 - ・イオンチアーズクラブ太田
 - ・前橋市児童文化センター 環境冒険隊
 - ・はじまるキッズ
 - ・ecoクラブまるっと
- 4 環境教室 (講師 金子詩乃 先生)
環境クイズ～自分サイズでできること～
- 5 閉会行事 こどもエコクラブ憲章の宣言

開会行事



藤城
環境政策課長の
あいさつ



司会の3人

活動発表

児童文化センター 環境冒険隊の矢島駿太郎さん、筑井晴哉さん、三木光太郎さんの司会進行で、発表会がスムーズに進行されました。各クラブとも1年間の活動を映像や解説などで、わかりやすくしっかりと発表できました。



壁新聞の展示

イオンチアーズクラブ高崎、前橋市児童文化センター環境冒険隊、エコクラブくわまる、イオンチアーズクラブ太田の4クラブが参加しました。また、はじまるキッズ、ecoクラブまるっとのミニ壁新聞も展示しました。どれも大変素晴らしい内容でした。

壁新聞の掲示した場所にメッセージカードコーナーをもうけました。
他のクラブあてに、発表や壁新聞に対してよいところなどを書いてもらいました。



環境教室

「環境クイズ～自分サイズでできること～」

講師に金子詩乃先生を招いて、環境クイズをやりながら環境問題に気づき、自分でできる行動を考えました。



イオンチアーズクラブ高崎

メンバー数：35名 サポーター数：5名

① 5月24日(土) 開始式とイオン周辺のクリーン活動



新メンバー 9 名を迎え、25 名の参加で開始式を行った。店長より 2024 年度の終了証書が授与された。



家庭ごみや車からのポイ捨てなどの多くのごみを回収した。

② 6月22日(日) 高崎市環境フェア参加

高浜クリーンセンター施設や災害にそなえたバリアフリー型トレーラー等見学した。

③ 7月28日(月) 農林大学校で群馬の農産物についての学習と野菜収穫体験

天候に左右される農家さんの大変さを感じた。

④ 8月4日(月) 浅間山周辺の歴史を学習(災害学習)

「ハッ場ダム」及び「やんば天明泥流ミュージアム」「鬼押し出し園」「鎌原観音堂」の浅間山噴火の関連施設を見学した。1783年に発生した大規模な噴火について学習した。当時の暮らしと災害の恐ろしさを知った。前橋市岩神町にある「飛び石稲荷」にも行き、浅間火山噴出溶岩が押し流されて来たことを知った。



⑤ 9月6日(土) 群馬県こどもエコクラブ学習会「サンデンフォレスト」



いきものガイドツアーなど森の中で自然と触れ合うさまざまな体験をすることで、動植物などの環境への関心が高まった。他クラブのメンバーとも交流したり仲間と協力したりすることもできた。

⑥ 10月19日(日) 防災について学ぼう

防災士による、災害時の行動や対応について学習。災害時の家族の避難場所の話し合いの重要性と、災害に備えたローリングストックのお菓子ポシェットと、履き物がない場合に役立つ新聞紙スリッパを作った。



⑦ 11月9日(日) 丸い折り紙でつくるクリスマスツリーとクリーン活動



大小さまざまな丸い折り紙を使ってクリスマスツリーを作った。細かい作業だったが真剣に作成。1時間かけて作った作品は満足のいく仕上がりがりだった。



雨が上がった後イオンの周りのクリーン活動を行った。たばこや乾電池、ごみなどが落ちていた。

⑧ 12月6日(土) 消防署見学と防災学習



消防車の出動は20年前より減ったが救急車の出動が増えているそうだ。救急車を呼ぼうか迷ったら、救急安心センターへ連絡すること、倒れている人や火災を発見したら周りに知らせる行動を教えていただいた。

消防士さんが必要時に持ち歩く20キログラムの機材が入ったバッグも持たせていただいた。毎日の訓練と私たちを守る大変な仕事をされていることが分かった。

⑨ 1月10日(土) エコクラブ交流会参加

各クラブの壁新聞や活動発表は素晴らしく参考になった。

〈一年を振り返って〉

人間が活動することによって地球温暖化などによる異常気象やごみ問題など地球をとりまくさまざまな問題があります。普段取り組んでいる省エネやエコバッグを使うことや地元の野菜を食べることも地球温暖化の防止につながっています。

環境活動は自然災害を減らすこと、防ぐことにもなります。私たちは群馬県の環境を守るため、地球の環境を守るため、自分たちができることを行動に移していきたいと思えます。

エコクラブくわまる

メンバー数：2名

サポーター数：2名

4月19日 春の山菜採り

サンデンフォレストの山菜採りに参加しました。たくさんの種類の山菜を採りました。

来年のために必要な分だけ採ることが大事だと学びました。



4月26日 キンラン・ギンラン保護柵設置活動

サンデンフォレストのサポーターとして、絶滅危惧種になっているキンランとギンランを保護するための柵を設置しました。



5月24日 アメリカザリガニ駆除作戦

サンデンフォレストサポーターズクラブのメンバー有志で企画して、特定外来生物のアメリカザリガニをザリガニ釣り駆除しました。



5月31日 地域ねこ活動講演会

地域ねこ活動の講演会で地域ねこ活動について学びました。地域ねこ活動に興味のある中学1年生のメンバーが参加しました。

6月29日 田植え体験会

小学1年生のメンバーが地元で開催された田植え体験会に参加して、手作業で田植えをしました。



7月5日 スポGOMIワールドカップ 群馬STAGE



スポーツとゴミ拾いを組み合わせたスポGOMIの世界大会の群馬県代表を決める戦いに「エコクラブくわまる」も参戦! 結果は40チーム中34位で惜しくも? 代表にはなれませんでした。

7月7日～11日 沖縄ラーケーション

5泊6日の沖縄ラーケーション。おきなわワールド、美ら海水族館などで沖縄の風土や海の生物などについて学んだほか、実際にサンゴ礁を見にいったり、スノーケリングでたくさんの海の生物を直接観察したりしました。



8月 市民参加型生物調査「みんなで作ろう!いせさき夏の生きもの図鑑」

伊勢崎市が実施した無料のアプリ「バイオーム」を活用した市民参加型生物調査に参加しました。エコクラブくわまは、特定外来生物4種類を含む50種類以上の生物を投稿しました。



クピアカツヤカミキリ



アカボシゴマダラ(大陸亜種)

9月6日 群馬県子どもエコクラブ学習会「おもしろ体験してみ隊」

他のエコクラブのメンバー達と森の散策やクラフト体験などを行いました。小学1年生のメンバーもグルーガンを使いこなせるようになりました。



10月5日 花と緑と環境フェア

伊勢崎市が開催した環境と緑化のイベントに参加しました。色々な団体のブースで発電の仕組みやEVトラックなど環境について学びました。

10月13日 権現山オリエンテーリング

群馬で一番低い山と言われている権現山のオリエンテーリングに参加しました。小さいけれど確かに自然がありました。旅する蝶で有名なアサギマダラも発見!



アサギマダラ



12月29日 桐生が丘動物園見学

桐生市の動物園でたくさんの動物を見て回りました。ペンギンはかわいいけど臭い!タヌキが重なって日向ぼっこしている姿がとってもかわかった!



〈一年を振り返って〉

サンデンフォレストサポーターズクラブのメンバーとして、森づくりのお手伝いをしました。他にも地域の色々な環境活動に参加しました。アプリを使った市民参加型生物調査を通して、身近な生物への興味が高まりました。来年度は、身近な環境について色々調べてみたいと思います。

活動報告

イオンチアーズクラブ太田

メンバー数：30名 サポーター数：2名

4月

開始式。みどり市で絶滅危惧種カッコソウの観察(4/26)
足尾の植樹(4/27)



5月

野菜を植えて植物観察、防災ポスター



6月

ホタルの観察(6/5) 矢田神水源で水質調査(6/11)
みどり市でジャガイモ掘り体験(6/21) ごみ拾い(6/2)



7月

お店でしている防災はなんだろう(店内見学、水消火器体験)



8月

土砂災害について出前講座

ソーラークッカー体験

24時間テレビチャリティ募金



9月

おもしろ体験してみ隊(学習会)(9/6)
イオンディライトによるオンライン防災教室
水害についてマイタイムライン作り出前講座



10月

金山清掃(10/5)



水の生き物調べ(10/11)



災害工作(10/18)

ペットボトルランタン・
新聞紙スリッパ・段ボールトイレづくり



白菜収穫体験(10/25)



11月

オープンハウスとのワークショップ(11/23)

防災教室とフォトフレーム作り



バイオームを使った生きもの調査(11/29)

〈一年を振り返って〉

今年は災害を知り防災に備える活動をたくさんしました。また自然とふれあう活動をたくさんしました。植物観察用の野菜が育たず、農家さんの大変さを改めて感じました。ホテルや、湧き水の周りの絶滅危惧種など、水が汚れると生きられない生き物が、たくさんいると知りました。災害と防災という新しいテーマもありましたが、今まで知らなかったことも知れた一年になったと思います。



前橋市児童文化センター 環境冒険隊

メンバー数：15名 サポーター数：2名

<今年度の活動概要>

隊員数 15人(小学校4年～6年)
年間活動日数 18日間
活動実施場所 前橋市児童文化センター 鹿田山 赤城白川
 県立勢多農林高等学校 県立ぐんま昆虫の森
 寺沢川
 赤城山(覚満淵・少年自然の家・長七郎山・鳥居峠)

環境冒険隊は
 環境調査や自然観察が
 大好きです。
 身近な環境についてたくさんの
 ことを学びました。

1 入隊式・オリエンテーション(4月26日)

- ・講師の鈴木先生に「自然の調べ方Ⅰ」について教えていただきました。はじめに、環境とは何か、というふだん余り考えないことを聞かれ、改めて考えました。その後、生息地のモデルを体験して、生き物は生息数を増減させながら、一定数に保たれることを理解しました。
- ・「自然の調べ方Ⅱ」では講師の渡邊先生に、は虫類、哺乳類、鳥類、両生類を実際に連れてきていただき、ふれあう体験をしました。



2 自然に親しもう(5月10日)

- ・ぐんま昆虫の森に行きました。昆虫パズルをした後、「コウモリとガ」をしました。コウモリ役とガ役になって、コウモリの超音波の仕組みを知ることができました。
- ・紙で植物の種々のモデルをつくり高いところから落としてどうなるか調べ、植物の繁殖の仕組みを知りました。また、発泡スチロールの板でチョウのモデルを作りどのようにしたら遠くまで飛ばせるか競争したりしてチョウの飛び方を調べました。



3 貴重な生物を守る技術を知ろう(5月24日)

- ・絶滅危惧種がどんどん多くなっていくと生態系のサイクルが壊れてしまい、他の生物に影響し、それを防ぐために、私たち人間に何が出来るかを教えてもらいました。
- ・サボテンとミニバラを寒天培地培養する活動と寒天培地を作る活動をさせていただきました。
- ・勢多農林高等学校の植物バイオ研究部の話を聞きました。藤岡市にある桜山公園のフユザクラについて3つの活動をしていることを知りました。まず、元気なサクラを培養し、次に苗を栽培し、そしてその様子を調査してこれからは生かすことです。目標は、100年先につながるのだそうです。



4 ぐんま昆虫の森で生き物の学習(5月31日)

- ・館内ラリーをしました。8個のクイズを館内のヒントから答えを出していきました。「チョウのエサ台の赤や黄色の液体は何？」の問題がとて難しかったです。
- ・ジェスチャーゲームをしました。虫や動物などの体を表現したり、解いたりするのが難しかったです。体の特徴をたくさん知ることができました。
- ・かやぶきの家でカイコと触れ合いました。エサやりでは、カイコがなかなか葉っぱを食べなくて少し残念でした。顕微鏡で見ると、カイコやカイコの脱皮のからにはどのような特徴があるか分かりました。



5 水中の微生物を観察し、図を描こう(6月21日)

児童文化センターで、顕微鏡を使い水中の微生物を観察してスケッチする活動をしました。最初に敷地内の小さな池で水をくんで、それをスライドガラスにのせてプレパラートにし、顕微鏡で微生物を探して観察しました。私は、丸くてピョコピョコ動く生物を見つけ、それをスケッチしました。

最初は、何もいなしような水から微生物が見つけれられる顕微鏡は素晴らしいと思いました。



6 水生生物で山の川の水質を調べよう(7月19日)

指標生物は、水質階級Ⅰの生物は、カワゲラ類15匹、サワガニ2匹、ナガレトビケラ類2匹、ヘビトンボ12匹、水質階級Ⅱの生物は、ヤマトシジミ1匹で、赤城白川の水質階級はⅠで、とてもきれいな川だと言うことが分かりました。

他にも、ニッコウイワナやモンキカゲロウなどが見られて良かったです。



7 秋の山の生き物を調べよう(9月13日)

- ・赤城ふれあいの森での活動は、雨が降っていて生き物はいないのではないかと心配していましたが、雨の時にしか見られないカエルやナメクジがいました。
- ・雨だというのにアリジゴクを見つけた人もいました。先生が獣道を見つけたのでみんな喜んでいました。
- ・屋根のある所に帰ってきて、森での散策を振り返りました。



8 水生生物で水辺の水質を調べよう(9月27日)

ぐんま昆虫の森で、流れがある小川と流れがない田んぼで水質調査をしました。天気は晴れ、川底は泥や砂、小石でした。

小川には、オニヤンマのヤゴやサワガニがいました。田んぼにはギンヤンマのヤゴがいました。同じヤゴでも暮らす場所が違うことを知り、生物も自分たちが暮らしやすい環境を選んでいて、生物のすごさを知りました。



9 活動の振り返り は虫類の生態を知ろう(10月4日)

- ・「クマと人間の共存」を考えながら模造紙に絵をかきました。未来を予想して、どんな自然やどんな環境がいいのかを想像し、どんなものがいいのか話し合ってから、人間のすみかやクマのすみかなどを工夫して書きました。
- ・獣医をしている先生から、同じ虫類でも違いがあることを映像で教えていただいたから、実際に生き物を見ながら紹介してもらいました。また、本州には3種のトカゲ、4種のカメ、8種のヘビがいること、このヘビのうち2種が毒ヘビということを知りました。



10 赤城山の自然を調べよう(10月25日)

- ・覚満淵に行きました。草が紅葉している場所がありました。講師から草も紅葉することを教えていただき、このような草を草紅葉(くさもみじ)ということも知りました。
- ・バスで移動して赤城神社に行きました。そこは、川のように削れていて岩がごろごろしていました。昔、キャサリン台風で山の上の方から岩が流れて、地面が削れたそうです。しかし、残っている栄養でまた木が生えていました。生命力を感じられた体験でした。



11 秋の生き物(土の中)を調べよう(11月8日)

シャベルで取った土をふるい、土の上に置いた画用紙に落として、土の中にある生き物を探しました。いろいろな虫を捕ることができました。調べた結果、木の根っこ付近にたくさん見つかりました。このことから、土の中の生き物は、土が柔らかい木の近くにたくさんいることがわかりました。土の中の生き物は、自然というものを支えて、自然を未来に残してくれているんだなと思いました。



〈一年を振り返って〉

- 前橋市内の他校の15人の仲間と環境冒険隊の活動を通して、協力することができました。
- 学校では教えてもらえない専門的な事を講師の方に教えてもらいました。
- 環境冒険隊を通して、自然の大切さに気づきました。自然の中に私たちがいることに気づきました。
- 今まで習ったことを家族や友達に伝えて広めていきたいです。



元総社エコクラブは平成7年(1995年)にスタートして今年で31年になります。こどもエコクラブは環境省が全国的に呼びかけスタートした小中学生対象のクラブです。当時の「利根環境フォーラム」と県環境アドバイザーのメンバーがすぐに対応して全国に先駆けて県内でいち早く立ち上げたクラブです。県の河川愛護団体に指定されていて、クラブを立ち上げて以来、毎年、地区内を流れる「牛池川」の清掃と保全、水質、生きものの調査を実施してきました。

令和7年度の活動

●「牛池川」の清掃と保全、
水質・生きものの調査

令和7年7月4日(金)
午後1時から午後3時



元総社小学校のすぐ東側の明神東公園と牛池川引き込みワンドのところで3年生1,2組の児童40人と担任の先生、サポーター2名で実施しました。校長先生、教頭先生、用務技士さん、一部の保護者や指導員の方、みなさんの協力もいただきました。好天に恵まれ楽しく、元気に活動できました。



ワンドの中にドジョウ、川エビ、ザリガニ、アメンボ、トビゲラなどが見られました。本流では大きなコイ数匹、カモ、セキレイなども見られました。水質的には川で、少し汚れが感じられました。

なお、事前に調査が安全に取り組めるように学校はもちろんエコクラブとしてもサポーターの大人や高校生リーダーが川の整備に取り組みました。

〈一年を振り返って〉

今年の元総社エコクラブは高校生6人と大人サポーター4人と30年間の中で最小のメンバーとなりましたが、地域や学校との連携、交流を深めてきました。

おすすめ
情報

農業は「地球温暖化」を止める エコ農園のこと

地球温暖化を止めるには「みどり」を増やすことです。森や林、各家での樹木や草花を大切に守り育てていくことです。身近なところでは、田んぼや畑で作物を实らせ「みどり」をいっぱいにすることです。

元総社エコクラブでは、中学校の北側で長いこと草ぼうぼうで空いていた畑があったので、地主さんと相談し、エコクラブで借りて、子どもたちとサポーターで農業をすることとしました。

トラクターで除草しました。土を起こして整地し、枯葉や草を土に混ぜて平らにして、種をまき少しずつ畑らしくなりました。土曜・日曜日に集まって草を刈ったり肥料を入れたりして野菜が作れるようになりました。

無農薬、地産地消、自給自足でネギやジャガイモ、サツマイモ、ダイコン、カブなどから始めて、もう20年以上になります。子供たちは皆、高校生から大学生、社会人となり、今は残された大人サポーター5~6人で頑張っています。



エコ農園スタート当初の畑での写真
子どもたちとサポーターが仲良く写っています。

情報提供:元総社エコクラブ

おすすめ
情報

やんば天明泥流ミュージアム 鬼押し出し園 鎌原観音堂

江戸時代の暮らしや浅間山の噴火の影響の大きさなどの歴史を知ることができます。

やんば天明泥流ミュージアム

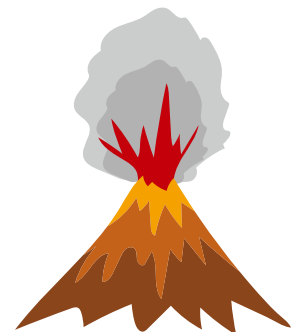
ハツ場ダムの建設工事に伴う26年の発掘調査で縄文時代から江戸時代までの遺跡が見つかりました。1500名以上の犠牲者を出した1783年天明3年8月4日の浅間山の大噴火による「天明泥流」で埋没した村落も見つかりました。水分を含んだ厚い泥に包まれて埋まった当時の状況がそのまま保存され、災害の恐ろしさと当時の暮らしを知ることができます。

鬼押し出し園

浅間山大噴火後流れ出した溶岩流が固まり、ごつごつした奇岩ができました。現在は植物も自生しています。

鎌原観音堂

噴火により土石なだれが発生し、高台にあった観音堂へ避難した93名が奇跡的に助かりました。観音堂までの50段あった階段は35段は埋もれ現在は15段が残っています。火山災害の恐ろしさを知ることができます。



情報提供:イオンチアーズクラブ高崎

壁新聞を紹介します!!

群馬県子どもエコクラブ事務局に寄せられた壁新聞を紹介します。
2025年度子どもエコクラブ「全国エコ活コンクール」の
壁新聞部門に、この中の3点を応募しました。



ecoクラブまるっと

ecoクラブまるっと

高崎市 サポーター1 メンバー1
活動内容 環境学習会、その他体験活動

ecoクラブまるっとでは、9月20日(土)高崎市新保町第一住民センターにて、環境クイズ「自分サイズで出来ること 夏編」とテーマで活動を行いました。
流しそうめんやスイカ割りなど昔から行われている夏の「涼」を体験しました。体験をする中で、年々暑くなる夏はどうして起きているのか、そしてそれに対して自分サイズでできることをクイズをとおして学びました。



今回、今年の夏を体験したばかりの子どもたちに、このように暑いのは、今年だけじゃなくてこれから毎年暑くなっていく事が予測されていることを伝え、暑くなる原因の温室効果ガスは私たちの暮らしから出ているものなので、減らすためにはどんな事を意識していかなくてはならないことを考えしてもらいました。「夏編」の活動でしたが、ほかの季節の活動もできたらよいと考えています。

はじまるキッズ

はじまるキッズ

高崎市 サポーター1 メンバー1
活動内容 農作業体験 清掃活動

10月11日(土)にNPO法人ふるさと再生ネットワークの稲刈りイベントに参加しました。このイベントには、10年近く参加しています。今回は、イベント運営の手伝いとして参加しました。稲刈りの準備、小さい子ども達が行った稲を結って天日干しに掛ける作業、片付けをしました。また、池の生き物を捕り、子ども達に観察してもらいました。



自分の農作業体験プラス小さい子ども達の環境体験の手伝いできました。母は子どもの成長を感じた1日でした。

11月2日 利根川河川敷ゴミ拾い



元総社小中学校の生徒保護者も集まって利根川のゴミ拾いをしました。いろんなゴミをたくさん拾ってくれました。不法投棄もたくさんありました。海までプラスチックゴミが利根川を流れていくとマイクロプラスチック汚染になることを話し、プラゴミもたくさん拾ってくれました。

川では石を投げて遊んだり、気持ちよく楽しい時間でした。



イオンチアーズクラブ高崎

防災と災害・環境について学んだイオンチアーズクラブ高崎

5月18日

防災方式とイオンの環境活動

5月18日 高崎店
 防災方式とイオンの環境活動
 5月18日 高崎店
 防災方式とイオンの環境活動



6月22日

高崎市環境 2023未加

6月22日 高崎市環境2023未加
 交差点もたまたま
 100人分のゴミを
 回収できた環境
 933g



7月28日

群馬県立農林大学校
 で学ぶ農業と収穫体験

7月28日 群馬県立農林大学校で学ぶ農業と収穫体験
 群馬県は学食満ちた土地
 豊富な水と日照時間の長さなど
 野菜の栽培に適した環境で育
 ちやすい野菜もたくさん種類
 の野菜を収穫できた新鮮な野菜
 は1ダケ1ダケとおいしく
 野菜を食べてみたい日々
 楽しい思い出を作った野菜と収穫体験



8月4日

8月4日 高崎市の防災と災害
 八馬クム
 防災と災害について学びました
 防災と災害について学びました
 防災と災害について学びました



9月6日

群馬県こどもエコクラブ学習会

9月6日 群馬県こどもエコクラブ学習会「サンコンフェスティバル」
 自然と共生の大切さを学びました
 自然と共生の大切さを学びました
 自然と共生の大切さを学びました



10月19日

防災について学ぼう

10月19日 防災について学ぼう
 防災について学ぼう
 防災について学ぼう
 防災について学ぼう



12月6日

防災について学ぼう

12月6日 防災について学ぼう
 防災について学ぼう
 防災について学ぼう
 防災について学ぼう



まとめ

まとめ
 これから私たちができること
 ・エコバッグを使う
 ・地元産の野菜をたくさん食べる
 ・ローリングストア・災害に備える
 ・ゴミを減らさない
 ・などなど
 これら全てをやるのも大事だけど
 少しづつがんばろう!

群馬県高崎



エコクラブくわまる

エコクラブ

くわまる

2025年の活動

ENVIRONMENTAL GOALS

めっちゃ活動
したよ!

メンバー

おい 弁当

アメリカガリガニ駆除作戦

サンディフェストの地のガリガニを駆除しました。
11人で協力して時間約136区画やり上げました。
ここでもエコクラブに報告したら活動レポートが書かれました。
メンバーの1人が色に落ちました(笑)

沖縄の生き物調査

スノーアリンコで沖縄島の豊かな生き物を調査しました。
他には「おまほおーん」や「あやふら」など、沖縄の生き物の
発見もしました。
バナナ・ドングリ・サングも発見しました。
沖縄は自然が豊かで私達が住む地域では見ることが
ない生き物がたくさんいました。
自然は自然を守ってほしいと思いました。

市民参加型生き物調査

伊勢崎市が行った「生き物のアザリ」をイベル生物調査室に依頼しました。
色々な生き物も50種類以上見つけました。
特定外来生物の「アカボシゴマダラ」「アメリカガリガニ」「オオキンケイギク」
「クビアカツユカサ」も見つけました。
家の庭には「クナハシ」や「ママガエシ」が住んでいた。色々なチョウト
ンコもみつけて食べてもらいました。
海や山がなくても、私達の暮らしにはたくさんの生き物がいることに驚かされ
ました。

キョウラン キンラン
保護観察活動

スズメ GOMI
ワールドカップ

と色紙の活動
講習会

伊勢崎 群馬 伊勢崎

エコクラブくわまる



イオンチアーズクラブ太田

2025年イオンチアーズクラブ太田

活動報告

ホタルのふゆ

ホタルのふゆは、自然の恵みです。今年も多くのホタルが観察されました。観察場所は、太田市の自然公園です。観察時間は、夕方から夜にかけてです。観察方法は、観察ポイントに移動し、観察を行います。観察結果は、観察記録表に記載します。

自然観察活動

自然観察活動は、自然の恵みを感じ、自然の大切さを学びます。今年も多くの自然観察活動が行われました。観察場所は、太田市の自然公園です。観察時間は、夕方から夜にかけてです。観察方法は、観察ポイントに移動し、観察を行います。観察結果は、観察記録表に記載します。

自然観察活動

自然観察活動は、自然の恵みを感じ、自然の大切さを学びます。今年も多くの自然観察活動が行われました。観察場所は、太田市の自然公園です。観察時間は、夕方から夜にかけてです。観察方法は、観察ポイントに移動し、観察を行います。観察結果は、観察記録表に記載します。

水質調査

水質調査は、水質の良否を確認し、水質の改善に努めます。今年も多くの水質調査が行われました。調査場所は、太田市の自然公園です。調査時間は、夕方から夜にかけてです。調査方法は、調査ポイントに移動し、調査を行います。調査結果は、調査記録表に記載します。

じゃがいもほほり

じゃがいもほほりは、じゃがいもを収穫し、ほほります。今年も多くのじゃがいもほほりが行われました。ほほり場所は、太田市の自然公園です。ほほり時間は、夕方から夜にかけてです。ほほり方法は、ほほりポイントに移動し、ほほりを行います。ほほり結果は、ほほり記録表に記載します。

自然観察活動

自然観察活動は、自然の恵みを感じ、自然の大切さを学びます。今年も多くの自然観察活動が行われました。観察場所は、太田市の自然公園です。観察時間は、夕方から夜にかけてです。観察方法は、観察ポイントに移動し、観察を行います。観察結果は、観察記録表に記載します。

ゴミ拾い

ゴミ拾いは、ゴミを回収し、環境をきれいにします。今年も多くのゴミ拾いが行われました。拾い場所は、太田市の自然公園です。拾い時間は、夕方から夜にかけてです。拾い方法は、拾いポイントに移動し、拾いを行います。拾い結果は、拾い記録表に記載します。

自然観察活動

自然観察活動は、自然の恵みを感じ、自然の大切さを学びます。今年も多くの自然観察活動が行われました。観察場所は、太田市の自然公園です。観察時間は、夕方から夜にかけてです。観察方法は、観察ポイントに移動し、観察を行います。観察結果は、観察記録表に記載します。

24時間テレビの募金活動

24時間テレビの募金活動は、24時間テレビの募金を呼びかけ、募金を集めます。今年も多くの24時間テレビの募金活動が行われました。募金場所は、太田市の自然公園です。募金時間は、夕方から夜にかけてです。募金方法は、募金ポイントに移動し、募金を行います。募金結果は、募金記録表に記載します。

自然観察活動

自然観察活動は、自然の恵みを感じ、自然の大切さを学びます。今年も多くの自然観察活動が行われました。観察場所は、太田市の自然公園です。観察時間は、夕方から夜にかけてです。観察方法は、観察ポイントに移動し、観察を行います。観察結果は、観察記録表に記載します。

自然観察活動

自然観察活動は、自然の恵みを感じ、自然の大切さを学びます。今年も多くの自然観察活動が行われました。観察場所は、太田市の自然公園です。観察時間は、夕方から夜にかけてです。観察方法は、観察ポイントに移動し、観察を行います。観察結果は、観察記録表に記載します。

自然観察活動

自然観察活動は、自然の恵みを感じ、自然の大切さを学びます。今年も多くの自然観察活動が行われました。観察場所は、太田市の自然公園です。観察時間は、夕方から夜にかけてです。観察方法は、観察ポイントに移動し、観察を行います。観察結果は、観察記録表に記載します。



前橋市児童文化センター 環境冒険隊

令和7年度
環境冒険隊
前橋市児童文化センター

活動概要

参加人数 15名(小学校4年～6年)
参加活動回数 1年5回
活動実施場所 前橋市児童文化センター・ 国立群馬県立高等学校
赤城山(ふれあいの森・児童館・森城神社)
赤城白川 国立くまもろ自然の森

4/26 自然の調べか

「自然の調べか」は、はじめに、環境とは何かを改めて考えました。また、自然の恵みを体験して、生き物はなぜ生きていけるのかを体験して、生き物はなぜ生きていけるのかを体験しました。



5/10 自然に親しもう

児童館へ行く予定でしたが、雨天の恐れがあったため、児童館の森に行きました。「コウモリゴキ」をしました。コウモリゴキとゴキブリになって、コウモリの羽の仕組みを知ることができました。そして、紙でゴキブリの羽を作りました。そして、コウモリゴキの羽の仕組みを知ることができました。



紙でゴキブリの羽を作りました。そして、コウモリゴキの羽の仕組みを知ることができました。そして、紙でゴキブリの羽を作りました。そして、コウモリゴキの羽の仕組みを知ることができました。



5/24 生物を守る技術

1/8 自然の調べか

「自然の調べか」は、はじめに、環境とは何かを改めて考えました。また、自然の恵みを体験して、生き物はなぜ生きていけるのかを体験して、生き物はなぜ生きていけるのかを体験しました。



その他の活動

月	内容
9月	群馬県こどもエコクラブ学習会
11月	一年間の学習のまとめ ・交流会へよう【株式会社ステック】 ・交流会の準備【農業を工夫しよう】
12月	群馬県エコクラブ交流会
1月	赤城山の生き物を調べよう (くまもろ自然の森)
2月	活動のまとめ・報告式

5/31 自然の調べか

「自然の調べか」は、はじめに、環境とは何かを改めて考えました。また、自然の恵みを体験して、生き物はなぜ生きていけるのかを体験して、生き物はなぜ生きていけるのかを体験しました。



10/25 赤城山の調べか

「赤城山の調べか」は、はじめに、環境とは何かを改めて考えました。また、自然の恵みを体験して、生き物はなぜ生きていけるのかを体験して、生き物はなぜ生きていけるのかを体験しました。



まとめ

- ・前橋市内の自然の15人の仲間と協力活動を通して、仲間と協力することできました
- ・貴重な体験活動
- ・学校で学んだことを実践的に活用することができました
- ・自然を守る大切さ
- ・環境問題を通して、自然の大切さを知ることができました
- ・広める
- ・みんなの力を合わせて活動することができました

6/21 水中の生き物を調べよう

「水中の生き物を調べよう」は、はじめに、環境とは何かを改めて考えました。また、自然の恵みを体験して、生き物はなぜ生きていけるのかを体験して、生き物はなぜ生きていけるのかを体験しました。



10/4 生き物の調べか

「生き物の調べか」は、はじめに、環境とは何かを改めて考えました。また、自然の恵みを体験して、生き物はなぜ生きていけるのかを体験して、生き物はなぜ生きていけるのかを体験しました。



7/19 赤城白川 水質調査

「赤城白川 水質調査」は、はじめに、環境とは何かを改めて考えました。また、自然の恵みを体験して、生き物はなぜ生きていけるのかを体験して、生き物はなぜ生きていけるのかを体験しました。



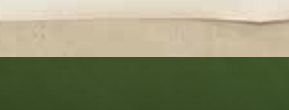
9/27 赤城山の生き物調べ

「赤城山の生き物調べ」は、はじめに、環境とは何かを改めて考えました。また、自然の恵みを体験して、生き物はなぜ生きていけるのかを体験して、生き物はなぜ生きていけるのかを体験しました。



9/27 自然の調べか

「自然の調べか」は、はじめに、環境とは何かを改めて考えました。また、自然の恵みを体験して、生き物はなぜ生きていけるのかを体験して、生き物はなぜ生きていけるのかを体験しました。



こどもエコクラブへ登録してみませんか！

群馬県こどもエコクラブ事務局
(群馬県環境政策課)

「こどもエコクラブ」って何？

こどもと大人で誰でも参加できる全国組織の環境活動クラブです。30年の歴史があり、現在は（公財）日本環境協会が主催し、環境省が後援、群馬県も地域事務局としてクラブの活動を支援しています。活動は、自然観察や調査、ゴミ拾い、リサイクル活動など、自分たちのできる身近な環境活動に取り組みばよいのです。



こどもエコクラブの活動

- こども(メンバー) 1人と、大人(サポーター) 1人から始められます。
- 環境に関心のある家族や地域団体、公民館や学校での取り組み等があります。
* クラブ・委員会活動、学年、PTA、育成会、少年団、ボーイスカウト、児童館活動

登録のメリット

代表的なメリットをあげてみました。

- 環境問題への意識や意欲を高めることができます。
- メンバーやサポーターは登録後に「賠償責任保険」の対象になります。
- 学習会や交流会、発表会等の情報が得られます。

登録の方法

次のどの方法でもできます。

- ホームページ上で登録する。(https://www.j-ecoclub.jp/club_entry/)
- ホームページから登録用紙をダウンロードし、メールかファックス、郵便で送る。
- 県や市町村の環境担当窓口で直接申し込む。

くわしくはこどもエコクラブ全国事務局のホームページをご覧ください。



<https://www.j-ecoclub.jp/>

※群馬県のこどもエコクラブ運営について、ご不明な点等ございましたら、下記へお問い合わせください。

群馬県 環境政策課 こどもエコクラブ担当
TEL. 027-226-2827 FAX. 027-223-0154
E-mail ecosusumu@pref.gunma.lg.jp





「エコまる」と「がんばりアースクラブ」は、こどもエコクラブのイメージキャラクターです。



群馬県 環境森林部 環境政策課 環境政策係
こどもエコクラブ群馬県事務局

令和8年3月発行

〒371-8570

群馬県前橋市大手町一丁目1番1号

電話 027-226-2827